

平成30年度みやぎ食の安全安心消費者モニター 新規登録者アンケート結果報告

■アンケート実施概要

- ・対象者は、平成30年度に「みやぎ食の安全安心消費者モニター」に新規登録した60人である。
- ・回答者数は、52人である。
- ・回収率は、86.7%である。
- ・調査は、平成30年4月から平成31年3月までに郵送により実施した。

■アンケート回答者属性

- ・60代が16人（30.8%）と最も多い。また、男性が18人（34.6%）女性が34人（65.4%）である。
- ・年代別内訳（単位：人）

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
0	3	6	10	8	16	9	0	52

- ・男女別内訳（単位：人）

男性	女性	計
18	34	52

■アンケート結果

- ・平成25年度のデータと比較した。
- ・年齢階層別に集計した結果、50歳未満と50歳以上の回答者で傾向が異なる設問については、2階層の集計結果を示した。

<結果要約>

1. 食品購入時の行動について

食品を購入する際に最も重要だと思う項目は「安全性」と回答した人の割合が最も高く、次いで「新鮮さ」、「味や品質」の順となっている。

2. 表示の確認頻度と重視する点について

食品購入の際に、回答者の90%以上が「消費期限、賞味期限の日付」、「原産国・原産地や製造者の情報」、「原材料（食品添加物の使用やアレルギー物質、遺伝子組み換え食品等の有無など）」を確認している。

食品の表示については、「加工品に使われている野菜、肉などの原産地表示がない」、「文字が小さすぎて見にくい」、「商品によって表示の方法や位置、使っている言葉がまちまちである」といった不満を感じている。

3. 食品の安全性について

食品の安全性について、「大いに不安を感じている」、「不安を感じている」と回答した人の割合は平成25年度の調査と比べて低下した。

「食品添加物」、「輸入食品の安全性」については半数以上が不安を感じている。

また、平成25年度の調査に比べて、「BSEなどの家畜の疾病」、「ダイオキシン、環境ホルモン」、「食中毒」、「重金属（ヒ素、カドミウム等）」に不安を感じている人の割合は増大しているが、「食品添加物」、「農作物への無登録農薬の使用や農薬の残留」、「食品表示の偽装」、「遺伝子組み換え食品」、「抗生物質の使用」、「水質悪化による水産物の汚染」、「アレルギー物質の含有」、「食品の異常（異物混入、臭味異臭など）」に不安を感じている人の割合は減少している。

1. 食品購入時の行動

(1) 食品を買うときに重要だと思うこと

問 あなたが食品を購入する際に、特に重要だと思っていることは何ですか？

最も重要だと思うことに◎，次に重要だと思うものに○をつけてください（◎，○は各1つずつ）。

食品を買うときに「最も重要だと思う」項目は、「安全性」であるとの回答が50.0%を占め最も多いが、平成25年度の調査と比べて15.1ポイント低下した。次いで「新鮮さ」（21.2%）が多く、平成25年度の調査と比べて8.5ポイント上昇した。

「次に重要だと思う」項目で回答割合が多いのは「価格」・「味や品質」（21.2%）であり、次いで「安全性」（15.4%）であった。

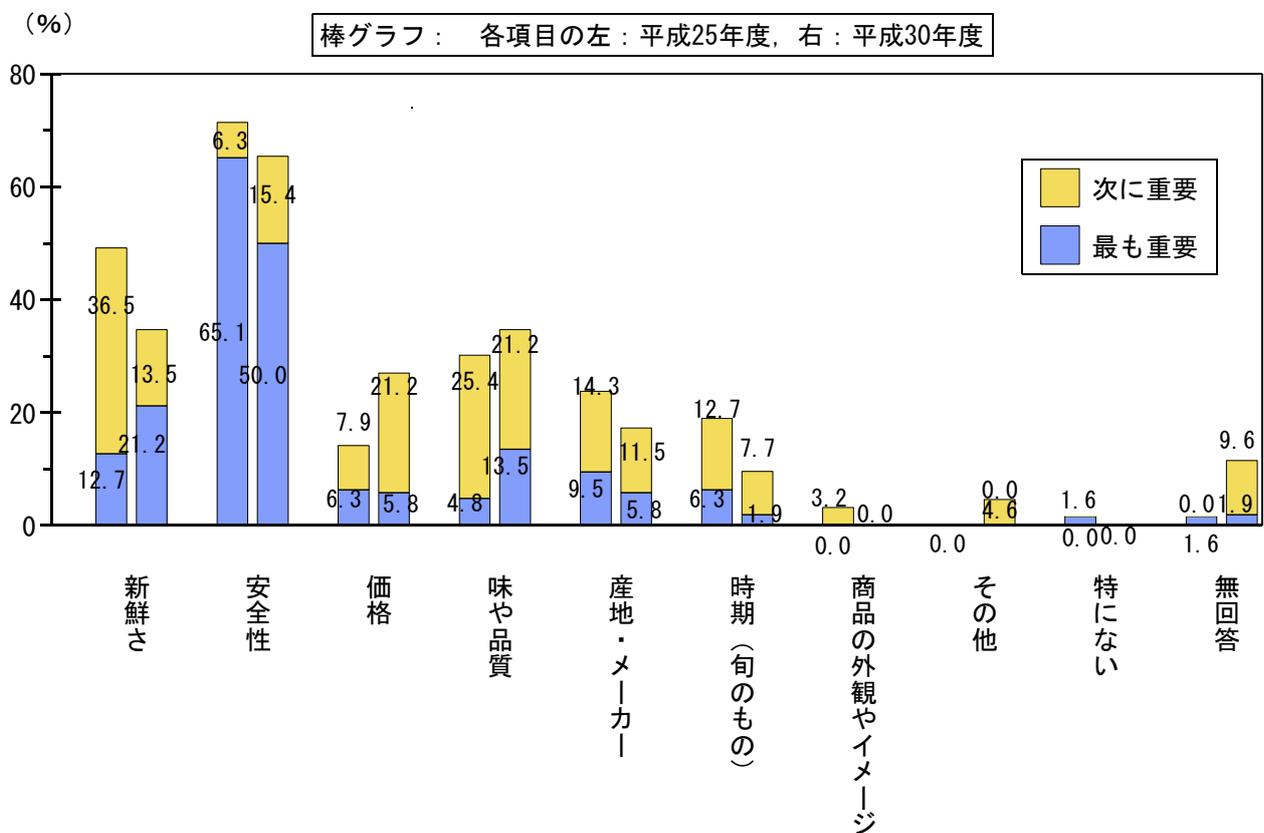


図1(1) 食品を購入する際に重要とする項目

年齢別では、有意差は見られない。

(2) 買い物をするときの考え方や行動

問 買い物について、あなたの考え方や行動に特によくあてはまるものをお選びください（〇は3つまで）。

買い物をする際に「安全性に配慮した食品かどうかを重視する」の割合が78.8%で最も高く、次いで「価格が品質や新鮮さなどに見合っているかをよく検討する」（75.0%）、「多少値段が高くても外国産よりも国内産の食品を買う」（59.6%）、「多少値段が高くても品質のよい食品を買う」（34.6%）の順となっている。

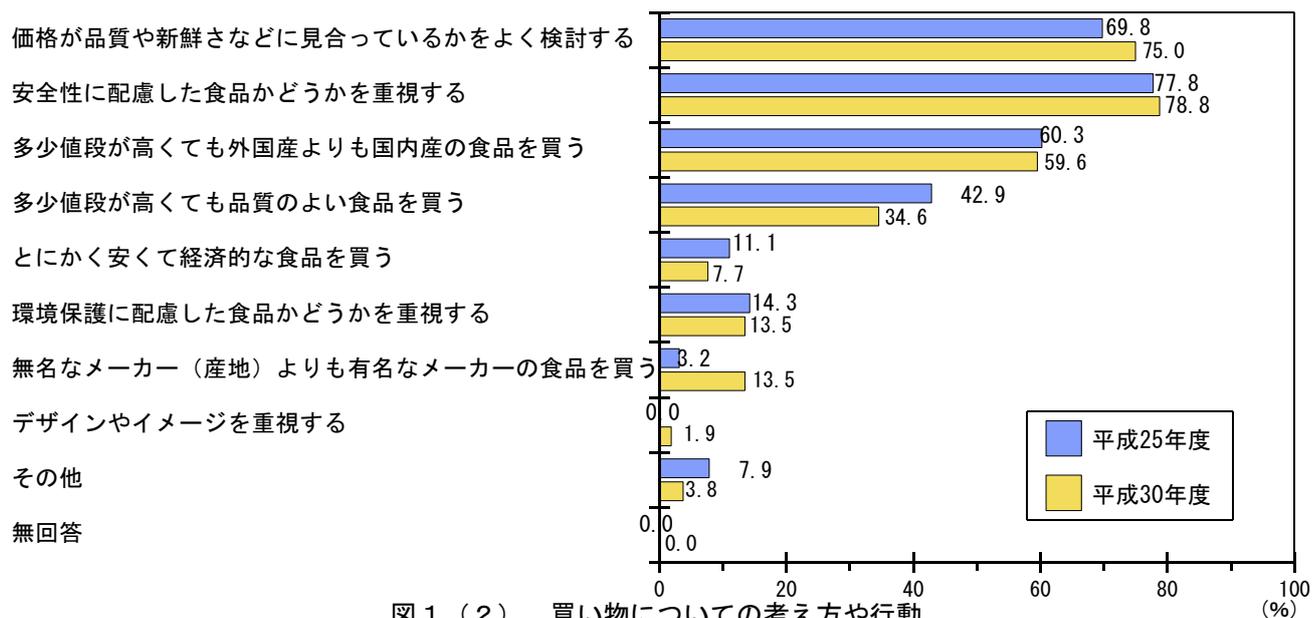


図1 (2) 買い物についての考え方や行動

年齢別では、有意差は見られない。

2. 表示の確認度と重視する点

(1) 食品表示の確認頻度

問 食品の購入時に、以下の表示についてどのような確認をしていますか？
イ 消費期限、賞味期限の日付

消費期限、賞味期限の日付については、80.8%が「たいてい確認している」と回答しており、「どちらかという確認している」(15.4%)を合わせると96.2%の回答者が消費期限、賞味期限を確認している。

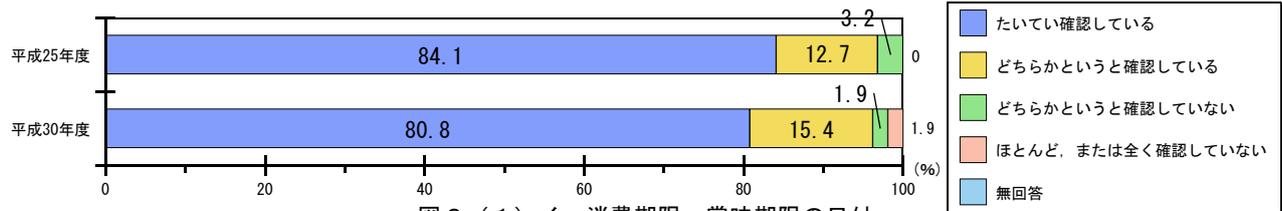


図2 (1) イ 消費期限、賞味期限の日付

年齢別では、有意差は見られない。

ロ 原産国・原産地や製造者の情報

原産国・原産地や製造者の情報については、67.3%が「たいてい確認している」と回答している。「どちらかという確認している」(30.8%)を合わせると98.1%の回答者が確認しており、平成25年度の調査と比べて2.8ポイント上昇した。

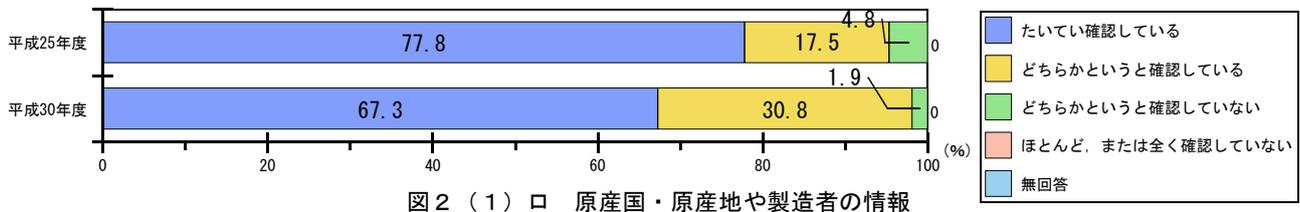


図2 (1) ロ 原産国・原産地や製造者の情報

年齢別では、有意差は見られない。

ハ 原材料（食品添加物の使用やアレルギー物質，遺伝子組換え食品等の有無など）

原材料（食品添加物の使用やアレルギー物質，遺伝子組換え食品等の有無など）については，36.5%が「たいてい確認している」と回答している。「どちらかという確認している」（55.8%）を合わせると92.3%が確認しており，平成25年度の調査と比べて3.5ポイント上昇した。

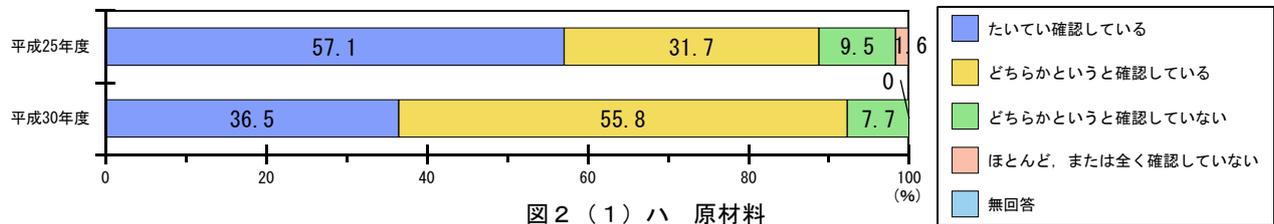


図2(1)ハ 原材料

年齢別では，有意差は見られない。

(2) 食品表示への不満

問 日ごろ、食品表示について不満を感じることはありますか？（〇は5つまで）

食品の表示についての不満は、「加工品に使われている野菜、肉などの原産地表示がない」（59.6%）が最も高いが、平成25年度の調査と比べて16.6ポイント低下した。次いで「文字が小さすぎて見にくい」、「商品によって表示の方法や位置、使っている言葉がまちまちである」、「宣伝文句やキャッチフレーズなどイメージアップの表示が多い」の順となっている。

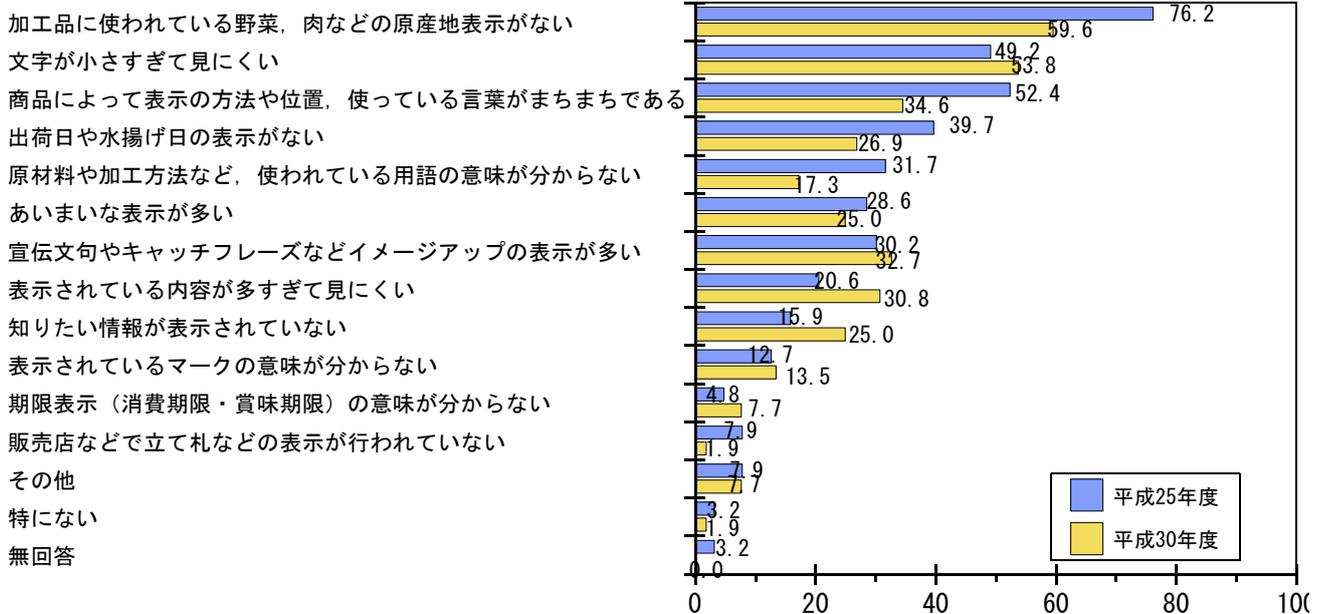


図2 (2) 食品表示についての不満 (%)

年齢別では有意差が見られ、「文字が小さすぎて見にくい」、「表示されている内容が多すぎて見にくい」の項目では、50歳以上の回答割合が高い。また、「知りたい情報が表示されていない」の項目では、50歳未満の回答割合が高い。

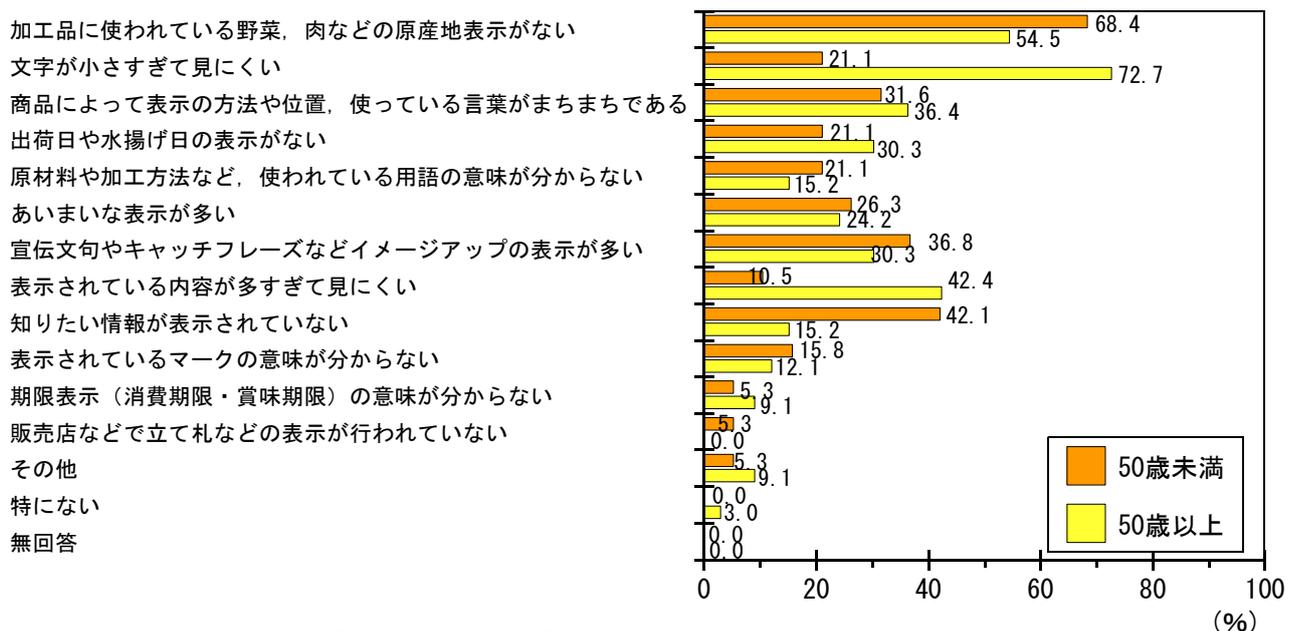


図2 (2) 食品表示についての不満（年齢別）

3. 食品の安全性について

(1) 食品の安全性に対する不安感

問 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか？（○は1つだけ）

食品の安全性について「大いに不安を感じている」（17.3%）、「不安を感じている」（25.0%）と回答した人の割合は平成25年度の調査と比べて14.8ポイント低下した。「少し不安を感じている」（48.1%）を合わせると90.4%であり、平成25年度の調査と同様の結果であった。

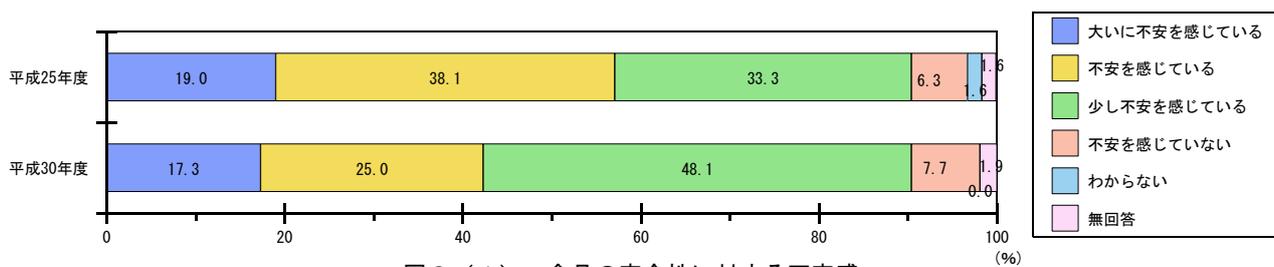


図3（1） 食品の安全性に対する不安感

年齢別では、有意差は見られなかった。

(2)特に不安を感じる項目

問 特に不安を感じていることは何ですか？（○は5つまで）

※ 前問で不安を感じていると答えた方のみ記入

不安を感じる項目は、「輸入食品の安全性」(67.3%)が最も高く、平成25年度の調査と比べて0.6ポイント上昇した。次いで「食品添加物」(53.8%)、「農作物への無登録農薬の使用や農薬の残留」(40.4%)、「遺伝子組換え食品」(34.6%)の順となっている。

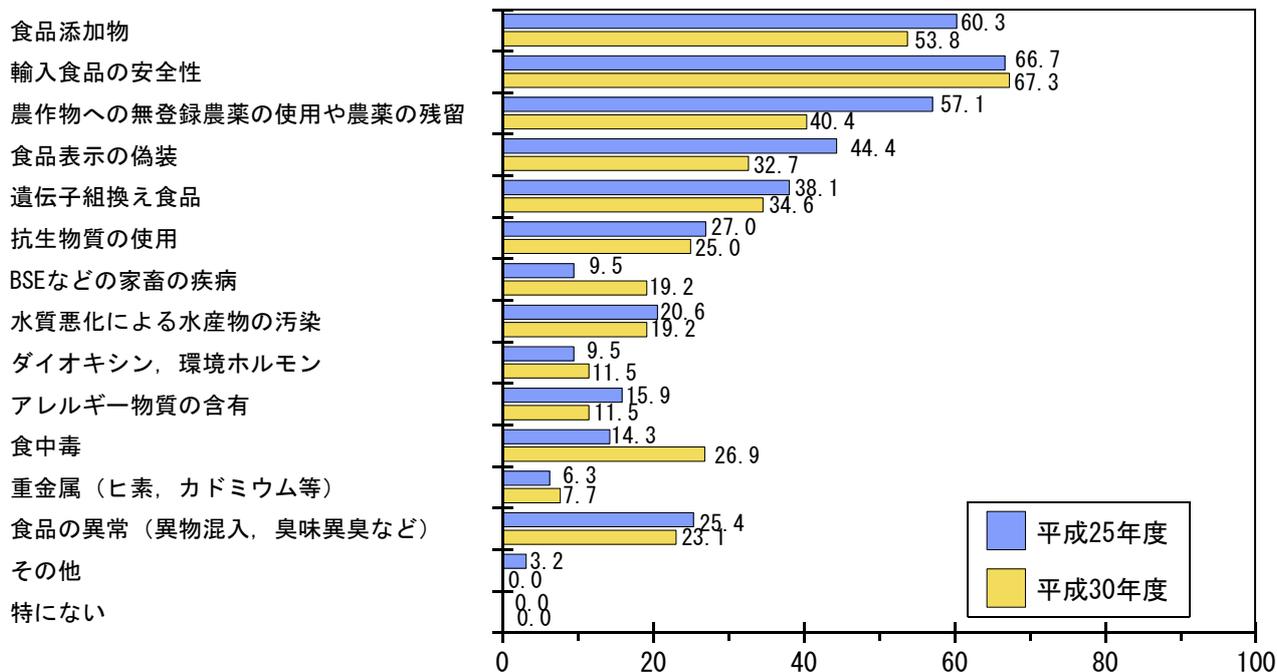


図3 (2) 特に不安を感じていること

年齢別では、有意差は見られなかった。

参考グラフ

1. 食品購入時の行動

(1) 食品を買うときに重要だと思うこと

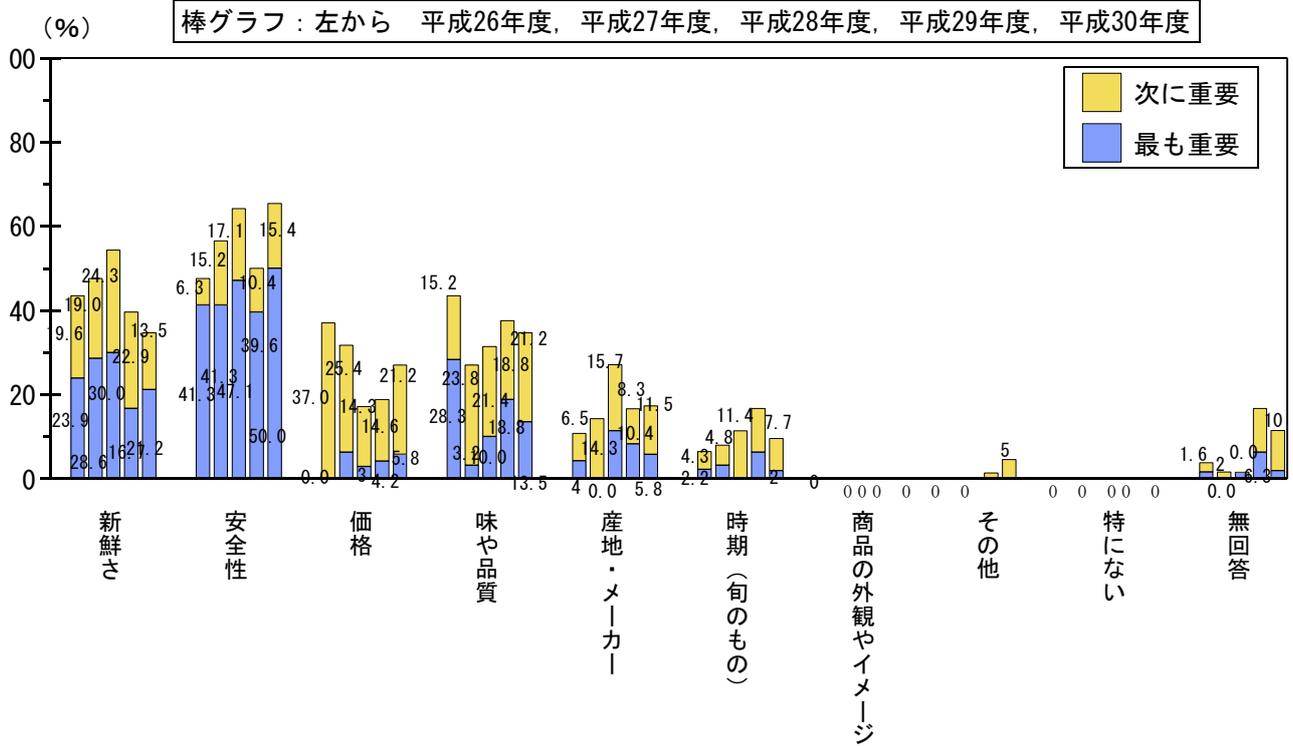


図1(1) 食品を購入する際に重要とする項目

(2) 買い物をするときの考え方や行動

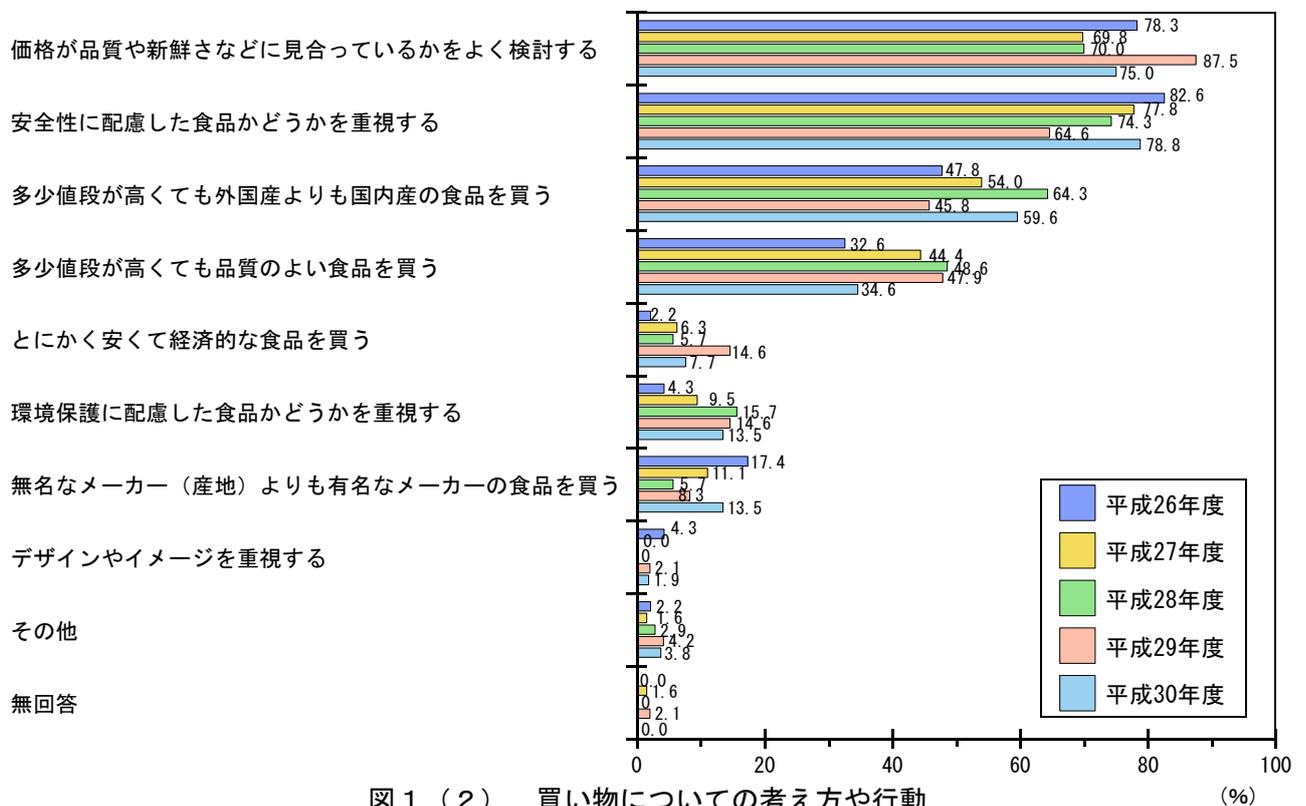


図1(2) 買い物についての考え方や行動

2. 表示の確認度と重視する点

(1) 食品表示の確認頻度

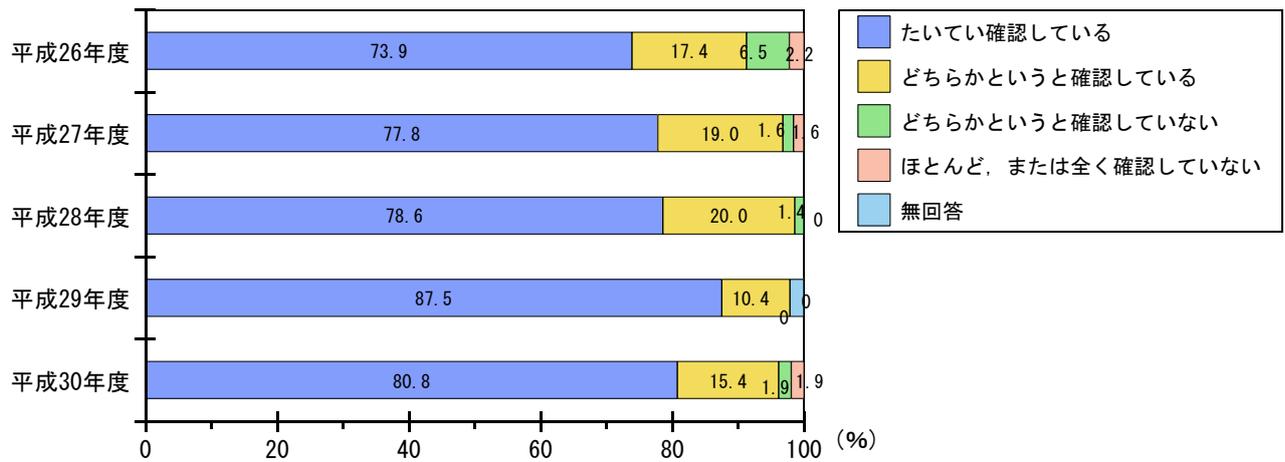


図2 (1) イ 消費期限、賞味期限の日付

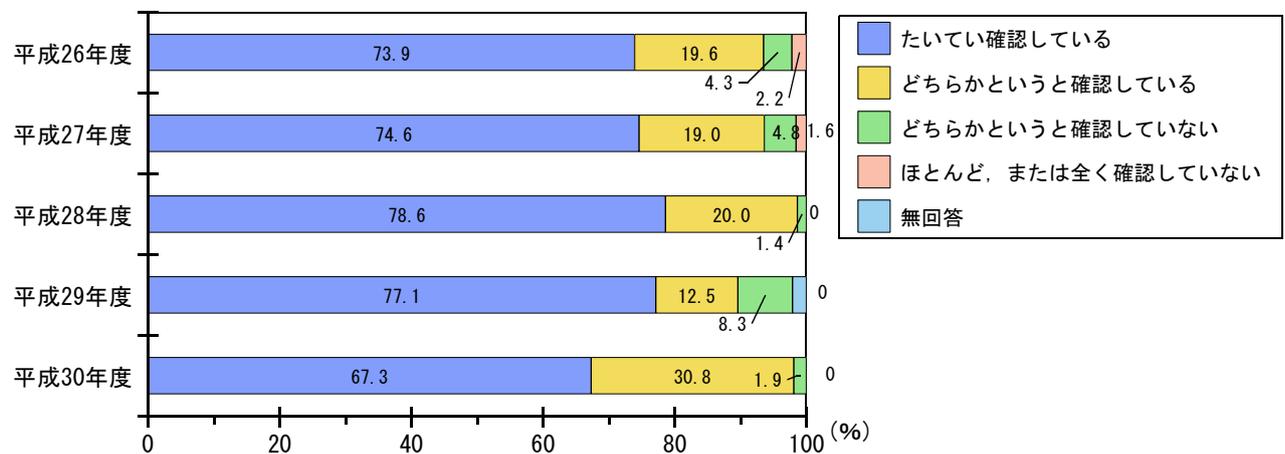


図2 (1) ロ 原産国・原産地や製造者の情報

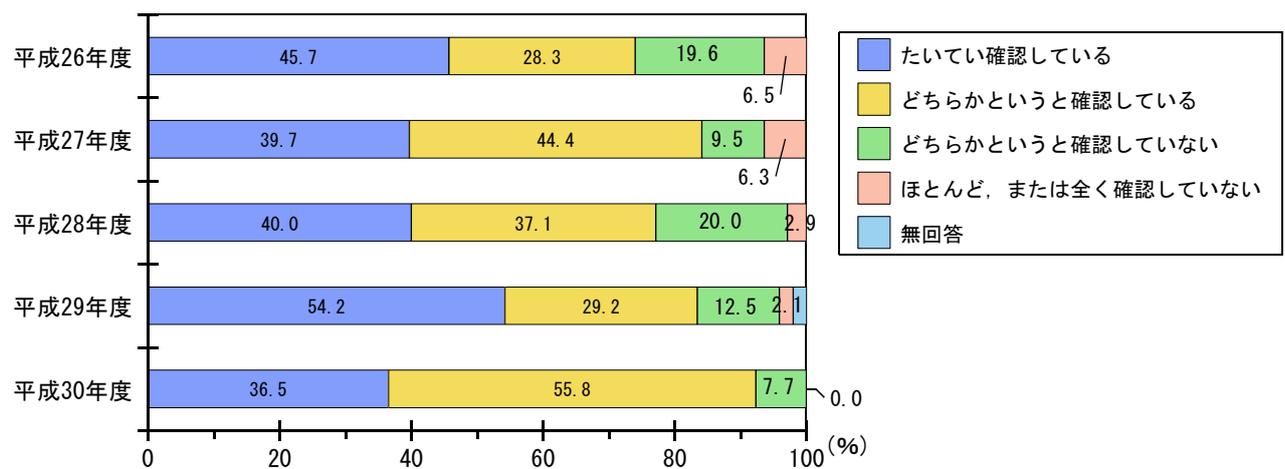


図2 (1) ハ 原材料

(2) 食品表示への不満

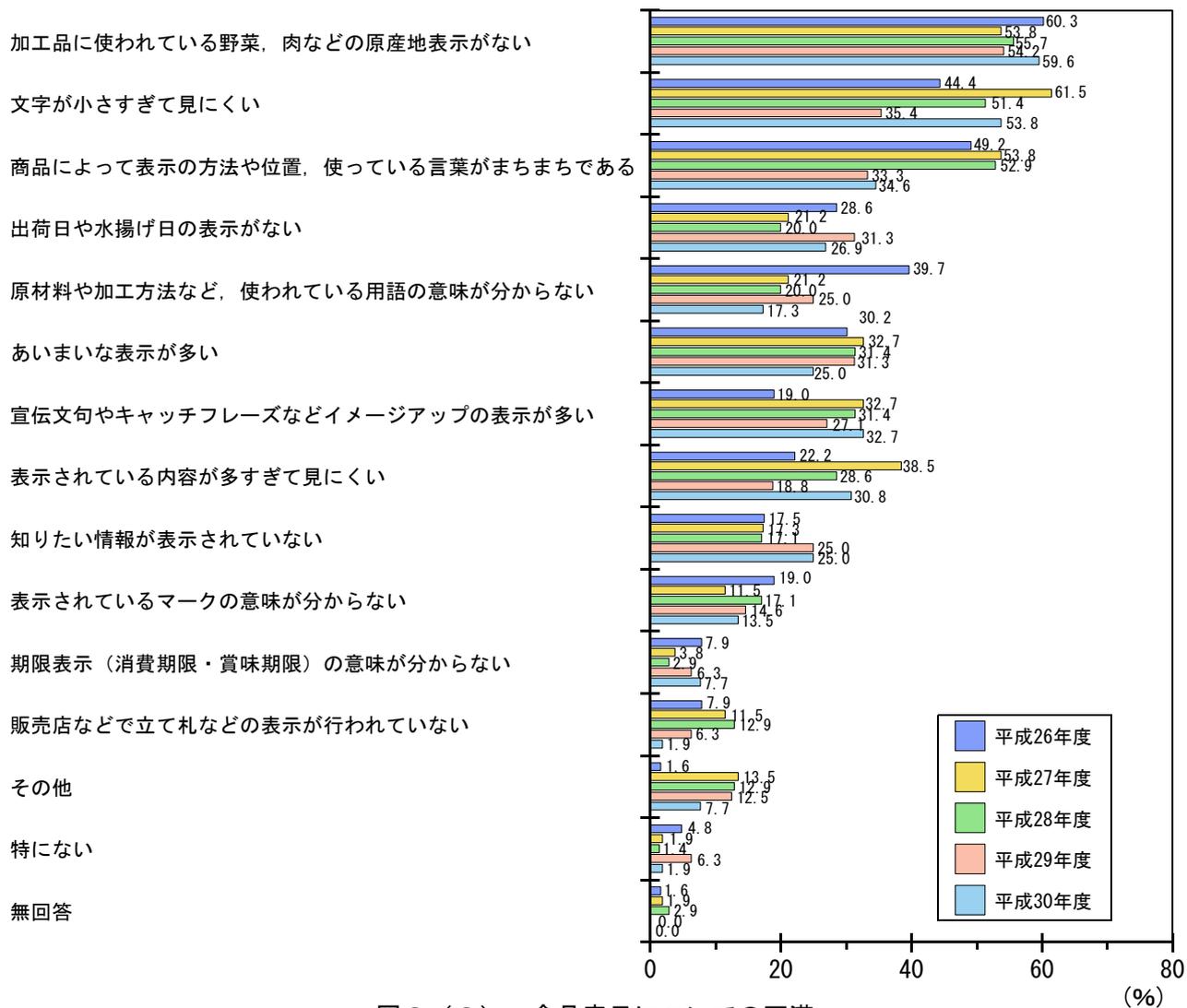


図2 (2) 食品表示についての不満

3. 食品の安全性について

(1) 食品の安全性に対する不安感

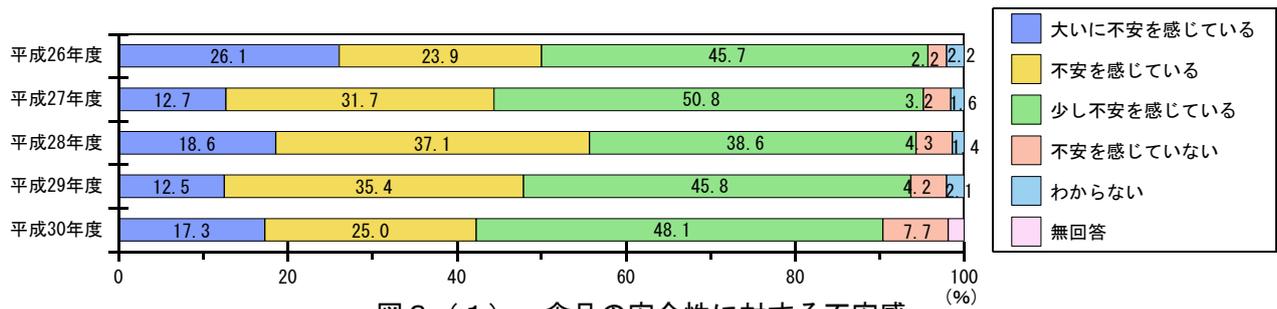


図3 (1) 食品の安全性に対する不安感

(2) 特に不安を感じる項目

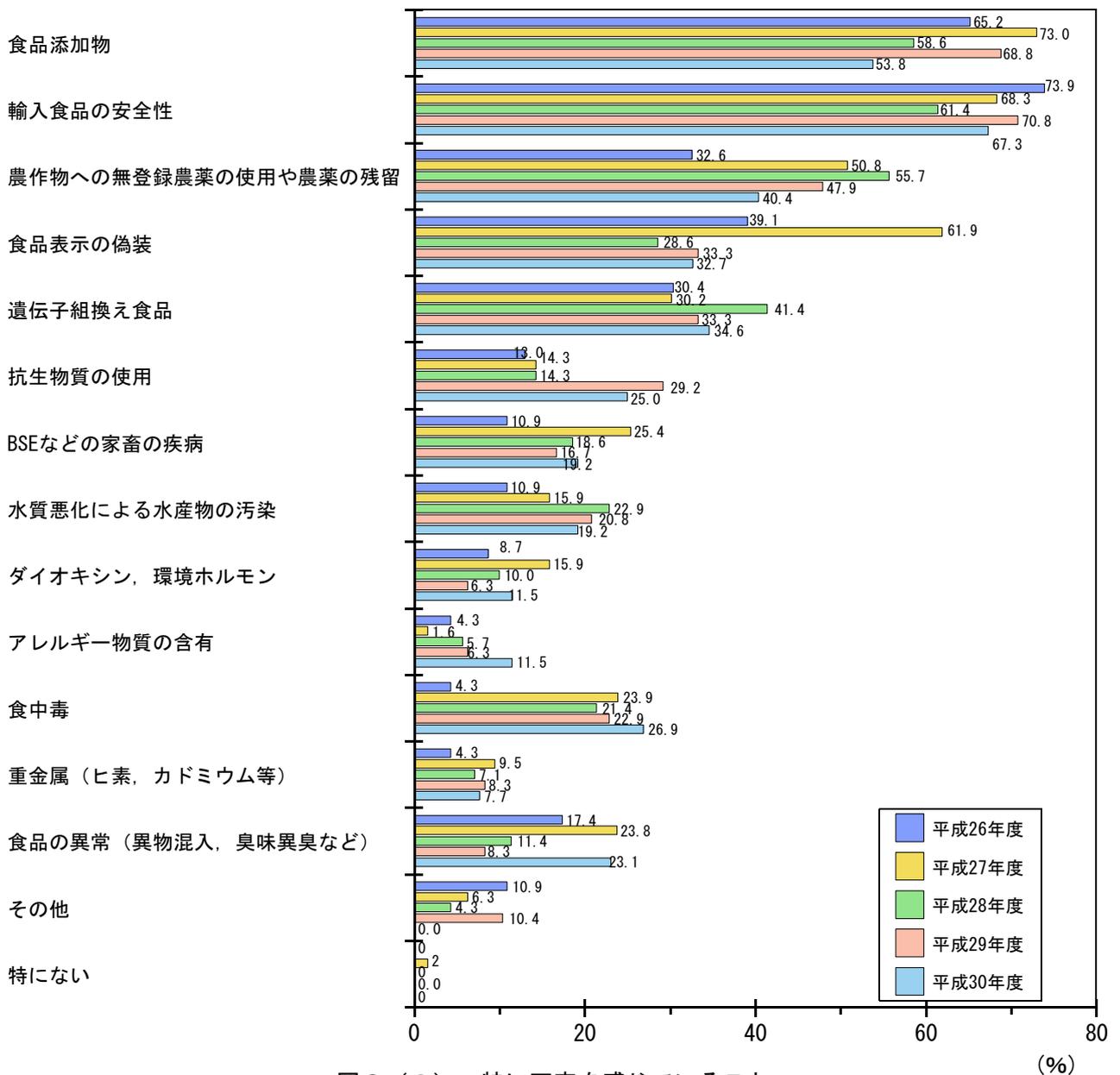


図3 (2) 特に不安を感じていること